

地域の防火・防災のために尽力 出初表彰

長年にわたり消防活動に尽力された方々に各関係機関から表彰状などが贈られました＝敬称略＝。

大垣市消防団長表彰

- ＊**勤労章**／東分団班長＝坂誠一、日新分団班長＝川口仁嗣、綾里分団班長＝柳田俊宏・安田隆宏、洲本分団班長＝渡邊一司・安田陽、荒崎分団班長＝吉川敬士、赤坂分団班長＝澤佳威、牧田分団班長＝甲斐大貴・宮田秀真、一之瀬分団班長＝山元啓太・山元誠矢、時分団班長＝金森佳之、東分団団員＝吉岡勇人、西分団団員＝三和直輝、綾里分団団員＝安田瑞樹・山田晃聖、川並分団団員＝松永淳一郎・高田卓哉、和合分団団員＝小倉英彦・河瀬伊織、三城分団団員＝益子裕介、多良分団団員＝渡邊一輝、時分団団員＝池井輝、墨俣西分団団員＝竹本龍司
- ＊**特別精勤章**／墨俣東分団部長＝水野恵介、和合分団班長＝梅田竜作、静里分団団員＝宗宮孝之
- ＊**精勤章**／多良分団副分団長＝伊藤哲次、牧田分団部長＝北川貴信、多良分団部長＝栗原利之、墨俣東分団部長＝大野英治、日新分団班長＝藤井憲昭、牧田分団班長＝古田隆弘、多良分団班長＝平塚雅樹・渡邊智樹、時分団班長＝田内秀征、墨俣西分団班長＝岸隆裕、西分団団員＝渋谷拓真・田中亮成、北分団団員＝渡邊太翼・内屋翔太、日新分団団員＝大橋知生・萩野晃・森遼弥・佐竹知、静里分団団員＝小寺剛弘・松村一輝・古藏紳哉、川並分団団員＝土屋直也・赤尾龍磨・渡邊剛史・稻川亜蘭、和合分団団員＝日比野英俊・安田佳弘・矢野治樹・高津則和、三城分団団員＝子安良和・臼井至博・説田光将、青墓分団団員＝窪田司・高木貴史、牧田分団団員＝福山真行・古田慎也・高木龍洋・山口晟義、時分団団員＝伊東亮太、墨俣東分団団員＝遠藤龍光・櫻井誠、墨俣西分団団員＝牧野高巳・大江浩司・新居英尚

大垣市女性防火クラブ連絡協議会 会長表彰

- ＊**優良章**／和合地区女性防火クラブ＝今吉由美

大垣市長表彰

- ＊**特別功労章**／団本部副団長＝木村泰夫、団本部分団長＝今津博紀、安井分団分団長＝川合将文、静里分団分団長＝多賀太一、和合分団分団長＝大石忠治、牧田分団分団長＝福井辰徳、墨俣西分団分団長＝米山仁史

大垣市消防団消防基金表彰

- ＊**勤務成績優秀表彰**／安井分団団員＝春田宗一・江海航希、川並分団団員＝渡邊智之・岩田亮・長谷川高志、和合分団団員＝北川昭成、三城分団団員＝伊藤聖也・馬場優治、青墓分団団員＝安田貴之・鈴木貴博、多良分団団員＝小寺修司・三輪大祐、墨俣東分団団員＝廣瀬勝則
- ＊**優秀家族表彰**／＜30年勤続＞久世輝子・杉野加奈・吉武真由美・日比野節子・飯田理絵・伊藤希依子・田中正則（消防職員の家族）
＜20年勤続＞松尾友子（西分団員の家族）、水野雅子（中川分団員の家族）
＜10年勤続＞高木真美（日新分団員の家族）、武藤由希美・平野明美・山田美香（三城分団員の家族）、和田麻美・山口静香・川上明日香（荒崎分団員の家族）、森山真美（青墓分団員の家族）、田中勲（牧田分団員の家族）、日比裕美子・三輪美保子（多良分団員の家族）、大江知・稻吉康代（墨俣西分団員の家族）
- ＊**消防功績表彰**／興文分団元後援会理事＝篠田裕美、西分団元後援会副会長＝安田金雄・横山健司、西分団元後援会相談役＝大橋廣次

大垣消防組合消防長表彰

- ＊**特別功績章**／東分団部長＝吉田庄吾、北分団部長＝小夏大介、安井分団部長＝川島大志、中川分団部長＝林栄治、青墓分団部長＝若山晃光、川並分団班長＝廣瀬邦雄、南分団団員＝矢田宣裕、青墓分団団員＝渡邊和弥
- ＊**功労章**／東分団部長＝横田一輝、綾里分団部長＝桑原慎、洲本分団部長＝臼井友則・服部哲、荒崎分団部長＝堀祥広、赤坂分団部長＝山田毅、一之瀬分団部長＝桑原治貴・古田一成・山元一輝、多良分団部長＝小寺健太、時分団部長＝吉村成晃、東分団班長＝索南达杰、日新分団班長＝今津貴文・旧井勝也、安井分団班長＝若園直紀、静里分団班長＝水谷政樹、綾里分団班長＝入川征也、洲本分団班長＝奥田章夫、牧田分団班長＝細野剛史、多良分団班長＝平塚雅樹・井戸淳也、墨俣東分団班長＝小川峰和・角山朋之、安井分団団員＝名和良能、宇留生分団団員＝松岡貴裕、荒崎分団団員＝川上伸一・山口充、多良分団団員＝渡邊浩志、墨俣西分団団員＝稲吉信二

大垣市消防協会長表彰

- ＊**功績章**／東分団部長＝横田一輝、東分団班長＝桑原翔真、宇留生分団班長＝大屋誠・牛屋聖司・早野達信、綾里分団班長＝大橋正嗣・安田隆宏、洲本分団班長＝秋吉弘朗、浅草分団班長＝天本正男・吉田周平、中川分団班長＝林玲於、和合分団班長＝杉原大誠、赤坂分団班長＝河合龍憲・松岡朋樹、牧田分団班長＝清水秀明・甲斐大貴、一之瀬分団班長＝山元啓太・山元誠矢、時分団班長＝小川豊、墨俣西分団班長＝岸隆裕

市民病院・豊田院長の 健康コラム No.10

あけましておめでとうございます ～2025年の大垣市民病院～

皆さん、あけましておめでとうございます。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第10回をお届けします。今回は病気のことでなく、わが市民病院についてお話しさせてください。

大垣市民病院は開設以来65年、現在30の診療科・1,676人の職員・207人の常勤医師を擁する大病院であり、市民の皆さんの健康を守る皆です。総合病院としてあらゆる病気に対応し、最新・最善の治療を行えるよう努力しています。常に最新の機器を備えるとともに、スタッフ皆が最新の技術や知識を習得するよう研鑽しています。

現在の医療は多職種のチームで行うものです。手術や検査にしても、医師だけではなく、薬剤・検査・医療機器などそれぞれの分野の専門家のサポートがなければ成り立ちません。病院では医師が患者さんの窓口になっていますが、その裏には膨大な職種の専門家がおり、医師は彼らと相談しながら診療を行っています。

また、病気になった患者さんに必要なものは、手術やお薬などの治療が全てではありません。病気と言われて治療を開始し、不安になった患者さんに対して体力的なケア、心理的なケア、治療中・治療後の生活のアドバイス、経済的な面でのアドバイスなど、さまざまなサポートが必要になります。市民病院ではこれらすべての面での専門家がいて、それぞれに全力を持って対応しています。これは大きな総合病院であってこそ初めて可能なことです。皆さんが安心して病気を任せられるよう、市民病院はあらゆる準備をしています。



ここで1つ大切なことを申ししましょう。大垣市民病院は、ごく特殊な場合を除いて、絶対に患者さん、特に救急患者さんの診療をお断りすることはありません。これは開設以来の大垣市民病院の伝統です。皆さんのお体は、責任を持って診察し、診断し、治療し、守ります。

しかし、市民病院にもまだまだ改善していかなければならないところが多々あるのは承知しています。待ち時間の長さ、アクセスの不便さ、施設の古さなど、私たちも手をこまねているのではなく、どうすればいいか日々思い悩んでいます。そんな中、今年の4月には病院内に24時間営業のコンビニエンスストアが開店します。また大垣駅から病院直通のバスも運行を開始します。病院内で医療や大垣市の情報などを伝える放送も開始となりました。少しでも皆さんの利便性が向上するよう、病院を変えていきたいと思ひます。

皆さんに育てられてきた大垣市民病院です。これからも見守っていただけるよう、そして安心して利用していただけるよう頑張っていきます。2025年もよろしくお願い申し上げます。



コラムで取り
上げてほしい話
題などは、入力
フォームへ



入力フォーム

健康コラムに対するコメントをいただいております。皆さんが健康についてのいろいろな悩みや疑問を持っておられることが分かります。月1回の連載ということもあり、なかなか取り上げられないのですが、今後できる限り少しずつお答えしたいと思います。よろしくお願いします。